令和５年度　学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立大新小学校
作成日	令和　６年　２月　13 日

1　教育目標

豊かな情操とまろやかな英知を育み、たくましく生きる子どもを育てる。

2　学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	・県学習到達度調査における正答率について県平均を目指す ・児童アンケートの「私は毎日の勉強がわかる」の項目で「そう思う」「まあそう思う」引き続き90％以上	・児童アンケートの「私は学校が楽しい」の項目で「そう思う」「まあそう思う」95％以上 ・児童アンケートの「生命の大切さや社会のきまりを守る態度の教育」で「あまりそう思わない」0％	・保健室が実施する元気大作戦(生活アンケート)で運動や体を動かす遊びの達成率90％ ・元気大作戦で睡眠時間の達成率80％以上	・保護者アンケートの「学校の様子を、わかりやすく伝えている。」の項目で「そう思う」「まあそう思う」85％ ・地域や公民館などと連携した取組を、各学年1つ以上実施
重点目標に対する意見	・学習到達度調査等の結果から「思考力・判断力・表現力」が課題であることから、授業や行事での対応は重点目標としてふさわしいものであると考える。 ・話し合い学習や読書活動を積極的に取り入れていただき素晴らしいと考える。ものごとの”本質”を捉える力を定着させていただきたい。	・「なかよし活動」は他学年の中で個が認められ、自尊感情の醸成や自らの役割や居場所を見いだす力の育成に大きな効果をもたらしていると考え、取組の継続とともに、充実を期待します。	・体を動かすきっかけとして、なかよし活動を活用していくことは有意義だと考えます。 ・授業やアンケートを通じて、子どもたちだけでなく保護者に対しても健康的な生活を意識づけるような働きかけを継続していただきたい。	・学年だよりも充実しており引続き継続していただきたい。 (個人情報の観点でも配慮が細やかにされている) ・公民館との連携については、子どもたちにとっても地域の方と関わる有意義な機会であると思われ、有り難く感じている。
取組状況に対する意見	・話し合いを通じて「思考力・判断力・表現力」を育成するには担任の高いスキルが求められます。ぜひ教員への教育サポートも引続きお願いしたい。 ・デジタルBookが定着すると関連図書などのレコメンドで便利な一方、全く新しい分野の本との出会いは少ないように感じる。学校での図書推薦活動は引続き継続いただきたい。	・多様性、人権に関わる取組は引続き継続していただきたい。家庭や保護者の価値観も参考にしつつ児童本人の”価値観”を育てられるように働きかけることも重要である。	・なかよし活動では年間を通じマラソンや長縄跳びなどグループ間で競い合うような仕掛けも取り入れ実施されており素晴らしいと考えます。 ・元気大作戦の取組は継続されているが、高学年には更に自身の生活リズムを振り返る機会をもたせることも必要かと考える。	・図書館や児童の見守り・作品展示などでもご協力を頂いており、そのことを保護者にも積極的にお知らせすることも重要である。 ・各種行事や学校開放月間などの機会を通じ、地域の方にも学校のことを知っていただくことも重要である。
取組の適切さの検証結果に対する意見	・学習到達度調査の国語・算数は日頃の成果が発揮されており素晴らしい結果でした。 90％以上の児童が「勉強がわかる」と答えており”達成感”を感じることは今後の学業に大きなプラス要因だと考える。 ・読書習慣は将来に渡って学習の根幹になり得る。丁寧な指導に感謝します。	・児童がアンケートに必ずしも正確に答えていないということも考えられるが、先生方には、子どもの様子をよく観察し、気持ちに寄り添っていただきたいと考えています。また、「命の大切さや社会のきまりを守る態度の教育」で「あまりそう思わない」という理由について把握できるよう設問についても見直しが必要ではないでしょうか。	なかよし活動や睡眠時間の達成率は高いものの、取組効果を検証するには、学年ごとの年次的検証も必要だと考えます。 ・スマホやPCとの上手な距離感など引続き継続した教育をお願いいたします。	・学校の様子をわかりやすく伝えることは難しいが、学校だよりや育誠会広報誌など、最大限、発信いただいており感謝いたします。引き続きよろしくお願いいたします。
次年度に向けての改善方法に対する意見	・自主学習は、児童自身の現状把握・問題発見・課題設定・問題解決と繋がる素晴らしい学習方法だと考えます。 ぜひ、自主学習を実施した際に「なぜ、その学習を選んだか？」など実施後の丁寧なフォローも重要です。家庭との連携などもより一層深めながら児童の更なる可能性を模索していただけると幸いです。	・「なかよし活動」を通じて役割や立場を考えた行動や言動が育成されており先生方の日頃の教育と素晴らしい取組に感謝します。 ・日頃の学校や家庭での出来事を振り返る機会を設けることで”当事者意識”が高まると考えます。 (評論家にならず自身の行動や考え方を振り返る機会を沢山作ることで思いやりなど育つこともある)	・1年を通じて、「なかよし活動」などを中心に体を動かし、健康的な生活習慣を身につけるような働きかけを継続していただきたい。 ・スマホやタブレットに支配された生活ではなく、児童が上手に利活用できるよう家庭と学校とで取り組んでいきたい。	・行事や学校の取組を発信していくことは重要である。 学校HPなどの抜本的な見直しなどを通じて”発信方法”も検討いただきたい。 (セキュリティ対策はログイン方法なども検討)

・限られた時間の中で、効率性を求める教育と、より一層”深く”必要な教育とを見極めながら、学校と家庭で更に連携とコミュニケーションを取って進めていただきたい。
・学校の先生方に求められるスキル・能力が年々高まっていると同時に負担も大きくなっている。また、家庭も共働き世帯が多いことを考えると子ども達の成長や変化、喜びや悩みに気づいてあげられないということが無いように学校でも家庭でも子ども達とのコミュニケーションは大事にしていきたい。